

中年探偵団 いにしへの旅へ

(移動定例会・ローカル線の旅：館腰・名取駅編)



1700年の時を超え、 祖先の人々に思いを馳せる



今年も移動定例会の季節がやってきました。待ちに待った9月23日、今年の実地は宮城県名取市です。館腰神社・弘誓寺（館腰駅）→雷神山古墳（館腰駅）→サッポロビール・仙台ビール園（名取駅）と千七百年を超えようかという壮大なスケールの古への旅。10名の参加者の普段の行いも幸いしてか、予想された雨にも遭うことなく充実した一日になりました。

まずはJR館腰駅で下車し館腰神社～弘誓寺へ。館腰神社は嵯峨天皇の弘仁2年

(811)、弘法大師（空海）が弘誓寺を創建する時に、京都伏見稻荷社を分霊したと伝えられています。奥州（街）道沿い館の腰といわれる山の麓に近い所に鎮座することから、社名が館腰神社と呼ばれるようになりました。

弘誓寺経由して雷神山古墳へ。雷神山古墳は愛島丘陵東側に築造された、長さ168mの東北最大の前方後円墳です。発見された際に、それまで東北最大と見られていた遠見塚古墳をはるかに上回る規模であることが明らかになりました。

そのすばらしいロケーションを目の前に、一同古代へのロマンに浸っている最中、誰からか「最高のショートホールだね・・・」と。なんとデリカシーのないことか。

そんな中、みつわ会東北支部長を兼任する佐藤講師のレクチャーがとてすばらしく、参加者一同は感心することしきりでした。

出来たて生ビールとジンギスカン ステキなおもてなしに感激！



それからJRで一駅。
名取駅で下車し本日も
もうひとつの目的地、
サッポロビール・仙
台ビール園へ。

ドイツの民家をイメージした建物のビヤレストランは、天井高6メートルの開放感のある安らぎのスペースです。サッポロ生ビールと人気のジンギスカン、バーベキュー料理をいただくことに。

ここで我ら中年探偵団は本領発揮。よく食べよく呑みよく騒ぎ、テンションはあがりっぱなし。魅力的な女性従業員に我先にと話しかけ、最後には彼女を無理やり記念写真の



センターへ。これってセクハラ？

でも彼女は笑顔で記念写真に入ってくれました。中年探偵団のメンバーと違い、まさに大人の対応です。社員教育の素晴らしさか、社員の鑑ですね。

美味しいビール、肉、野菜、海鮮を十二分に堪能したにも拘らず、盛り上がったテンションが収まらない我々は、仙台駅で二次会のカラオケへ直行。さらに一部の懲りない輩は三次会へ・・・。

毎回ながら楽しい一日でした。来年も楽しみです。さらに参加者が増えるといいですね。企画準備していただいた佐藤支部長、田中副支部長、村田幹事、また参加された皆さんお疲れ様でした。

(阿部 靖 記)

ほほえみの雀士 ^{うた} 打って・唱って大活躍！



「みちのく損保第100回麻雀大会奮闘記」(前回の支部便り10. 11月号に掲載)の文書を担当した藤澤敏夫さんが、打って唱って大活躍。

9月10日のみちのく損保麻雀例会では第10位と健闘し、なんと順位賞と当日賞をダブル受賞となりました。

9月25日は、みやぎコーラルハーモニーの第11回定期演奏会に出演。バス担当で、ブラームスの悲歌 作品82、ドイツ・レクイエム 作品45を熱唱。今回の

定期演奏会は、ソプラノ・渡部ジェディス、バリトン・高橋正典、指揮・渡部勝彦、合唱指揮・相澤富美江、管弦楽・エマイ ユフィルハーモニックでした。

みやぎコーラルハーモニーは、宮城教育大学教授(当時)で指揮者の渡部勝彦氏の声かけのもと、レクイエム、ミサ曲、オラトリオ等の合唱の名曲を、オーケストラとともに原語で歌う混声合唱団で、2005年に発足。音楽総監督兼常任指揮者として同氏、音楽助監督兼指導者として声楽家の相澤富美江氏、合唱指導者として宮城教育大学名誉教授で声楽家の板橋健氏を迎え、毎年1回の定期演奏会を開催しています。

(桑野 健二 記)

お元気ですか？ ～わたしは今～

悪い司会者に？ 戸籍上は80歳？



こんばんわ、清和です。祝金を頂戴した後、「ひとことご挨拶を」と言われることは予想できたので、自分なりに「この度はありがとうございます

す」。これで済ますつもりでしたが、今日ここにきて急遽悪い司会者から「長めの挨拶を」と言われて、戸惑っているところです。年齢も年齢ですので言いたいことは山ほどあるんですが、中抜けもあるので急遽メモを作ってみました (拍手・笑い)。

支部の財政が厳しいことは幹事の私も受け止めていて、そういう中で傘寿のお祝いを頂戴し大変恐縮しています。心から感謝しております…。と、ここで終わるつもりでしたが、悪い司会者の注文によりもう少し話をさせていただきます。

私は昭和11年6月26日生まれ。今日は5月24日ですからあと一か月ちょっとで80歳になりますね。よろこんでいいのかは分かりませんが、戸籍上は80歳になるよ

傷害保険に加入出来ない私！



こんばんわ、渡邊です。皆さま、どうもこの通りご立派なお祝いをいただきありがとうございました。皆さんの会費から頂くという事は、本当に感激しております。ありがとうございました。

80歳になるのですが、80歳と言うとなりたくないし、悲しいんですよ。何故かという、日新火災の保険に入れなくなっちゃうんですね (笑い)。だから正直言うと80歳にはなりたくなかったんです。出来れば79歳でスーと逝けたらなあーと、本人は思っていたんです。

うです。といいますのは、正直実感がないのですね。若い頃、言葉が悪いですが「80のおじいちゃんはやぼよぼ」という印象がありましたが、自分の身になってみると・・・ (笑い)。今、介護の時代と言われますが、私は今のところその心配もなく人並みに日常生活ができています。それは、みつわ会やみちのく損保で行事とか色々あって、私は歩けるもので余程のことがない限り最優先順位で参加しています。参加すると当然のことながら若い人がたくさんいて、エネルギー・パワーをいっぱい頂いて元気づけられ、勇気づけられるんです。自然と若返っちゃうんですね。特にこの場を借りて若い方にお礼申し上げます。

(会場からは拍手と「もう終わりかな」と言う雰囲気。年の功です。締め言葉へ。)

このあたりで終わりにさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(28年 総会にて) (約5分の挨拶でした)

清和才二さん 福島県福島市

おそらく今度の傷害保険の満期から僕はカットされちゃうんですね。でも、これも会社の規定ですのでやむをえません。今日この場で80歳と言われて一番感じたのはこのことです。

あと、皆さんにはお話したことがありますが、僕は会社に在籍中、人の二倍も三倍も人前でしゃべっていたので、会社をやめたら一切人前では話さないようにしているんです。ですから、今日は「ありがとうございました」、という言葉で締めさせていただきます。本当にありがとうございました。(拍手) (28年 総会にて)

渡邊富夫さん 宮城県仙台市

☆北三県会員の集い（盛岡市開催）☆

青森県・秋田県・岩手県の会員の皆様。また、今年も盛岡でお会いしましょう。

◎日 時：平成28年10月15日（土）15時～

◎場 所：居酒屋「うま舎」（うまや）

盛岡市駅前通15-6細田ビル ☎019-653-9733

◎会 費：4000円

☆南三県会員の集い（福島市開催）☆

山形県・福島県・宮城県の会員の皆様。また、今年も福島でお会いしましょう。「福島県会員の集い」から始まりましたこの集まりも、一昨年からは「南三県会員の集い」と名を改め、一人でも多くの方々とお会いし語らいが出来る場となっています。

◎日 時：平成28年11月19日（土）12時～

◎場 所：ザ・ホテル大亀（昨年とは場所が変更になっています）

JR福島駅東口から徒歩2分

福島市栄町7-3 ☎024-522-8989

◎会 費：5000円

◎出欠のご連絡は 11月5日（土）までに、下記までご連絡下さい。

・清和才二（TEL&FAX：024-539-9511）

・佐藤賢一（TEL：090-7653-2952）

☆11月定例昼食会☆

◎日 時：平成28年11月24日（木）12時～

◎場 所：しゃぶ膳

◎会 費：2000円

◎参加希望は10月31日（月）までに、下記までご連絡下さい。

◎連絡先：090-7328-2005、022-272-9254（村田 博）

特別展 雪舟と宮本武蔵と水墨画（仙台市博物館）

仙台市博物館では、「特別展 雪舟と宮本武蔵と水墨画」（「岡山県立美術館 珠玉の名品」を10月30日（日）まで開催しています。水墨画は中国で生まれ、日本では雪舟の活躍により大きく発展しました。また、岡山県立美術館は岡山出身の雪舟や岡山ゆかりの宮本武蔵の作品等を所有しています。本展では様々な国内屈指のコレクションを通して水墨画の真髄が堪能出来ます。

仙台市博物館でボランティア活動を行っている佐藤賢一さんからの情報でした。

新しい仲間を紹介します (28年度新規入会者)

小林 一夫 (こばやし かずお) さん 福島県郡山市



早いもので「みつわ会東北支部」に今年度から入会いたしました、小林一夫です。

その昔郡山に7年、そして会社人生後半に、仙台に3年(NIS、1年を含む)在籍していました。現在は郡山市に住まいし、そしてまだ「日新火災インシュアランスサービス」で他の社員の足手まといとなりながら、損保営業に關与している毎日です。

時々、上京しては昔の仲間と飲んだり、マージャンしたり、競馬場に足を運んだりと(苦笑)、まさに営業現役時と変わらぬ現況です。今後は「みつわ会東北支部」のメンバーとして、皆様方には宜しくお見知りおきのほど、お願い申し上げます。

因みに、日新火災入社は昭和49年で今年66歳となりました。

(2016年9月1日 記)

東北フォトさんぽ ～みちのくの魅力～



<秋田県立美術館2階から千秋公園を望む>

世界的な画家藤田嗣治が、昭和12年当時の秋田を描いた大壁画「秋田の行事」は、新しい美術館の中で、さらに輝きを増しています。また、美術館2階の喫茶室はとても贅沢な空間です。目の前にある池の水面と向こう側にあるお堀の水面とが重なり、何とも言えない落ち着きを与えてくれます。

<写真提供：田中 栄さん>

＝ 皆さまからのお便り・お写真をお待ちしています ＝

「お元気ですか? ～わたしは今～」へお便りをお寄せ下さい。「会員の方々の今」を、支部便りを通じて皆様にお届けしたいと思います。

「東北フォトさんぽ ～みちのくの魅力～」へお写真をお寄せ下さい。風景・花・食べ物・まつり・民芸品など、題材はなんでも構いません。写真の紹介と併せ、思い出やエピソードも添えていただけるとうれしいです。なお、お写真は後日お返しいたします。

お手紙・封書 ⇒〒980-0804 仙台市青葉区大町 1-4-7 日新火災ビル 3F みつわ会事務局

メー ル ⇒ken0314@ab.cyberhome.ne.jp (桑野健二)

四季のうた



「みちのくは底知れぬ国大熊生く」(佐藤鬼房)

「おやじ」とは大きな熊。恐れと親しみをこめて、そう呼ぶのだ。花巻の人、宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」に描かれる、あのものいう熊も「おやじ」だろう。

鬼房は宮城県塩竈の人。雪に埋もれて生き続ける、みちのくの魂のような大熊。

(長谷川權「四季のうた」第二集より～

鬼房の生まれは釜石のようです)

＝ 幹 事 会 の 概 要 ＝

8月9日に開催した幹事会の概要をお知らせいたします。

- ◎会費は全会員から収められたとの報告がありました。また、杉村さんから脱会の連絡があったとの報告がありました。なお、今年度は支部便りを送付することとしました。
- ◎北三県の集いについて詳細を確認し、また、補助金を今年度も行うこととしました。
- ◎南三県の集いについて、場所変更などについて話し合いを行いました。
- ◎9月の移動例会の詳細を話し合い、参加者の確認なども行いました。

＝ 今 後 の 行 事 予 定 ＝

みつわ会東北支部		みちのく損保	
10月11日(火)	幹事会	10月25日(火)	秋の収穫祭
10月15日(土)	北三県の集い	10月28日(金)	ハゼ釣り同行会
11月8日(火)	幹事会	11月11日(金)	ゴルフ部会
11月19日(土)	南三県の集い	11月12日(土)	麻雀大会
11月24日(木)	定例昼食会：しゃぶ膳	11月24日(木)	カラオケ会

来春 「ワインとサクラを愛でる会」を開催予定 !

場 所：山形県。ワインは高島市、桜は南陽市。 時 期：2017年4月

その他：仙台集合、及び、現地集合。日帰りで計画中ですが、詳細は未定です。

高島市：アクセスの便利な JR 高島駅には山形新幹線も停車し、全国でも珍しい「温泉」のある駅としても有名です。

南陽市：伊達藩・上杉藩ゆかりの地。赤湯温泉の裏手にある烏帽子山公園は置賜盆地を一望でき、「さくら名所100選」にも選ばれています。